



避難訓練の考え方

これまでの「避難訓練」は、①地震（火事）発生放送が流れる ②廊下に2列に並ぶ ③静かに校庭に避難 ④「今日の避難にかかった時間は〇分〇秒でした。静かに避難できて偉かったですね」と校長からの講評 ⑤教室に戻る のパターンがほとんどでした。

藤小学校では、この方法を見直し、慶應義塾大学の大木先生が提唱している防災訓練にも取り組んでいます。

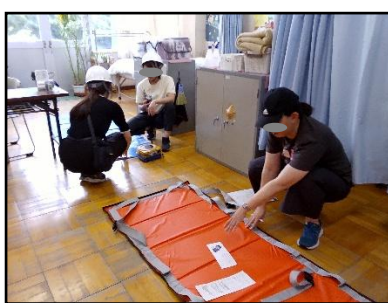
理由は、①立て続く余震の中、集団で急いで階段を移動して校庭に向かうことへのリスクのほうが大きいこと ②阪神淡路大震災以降、耐震化された学校・新耐震基準の学校に倒壊事例がないこと ③訓練は天候に応じて中止や簡素化できるが、実際の地震は大雨や降雪、非常に暑い（または非常に寒い）など外にいることで起こる健康被害のほうがリスクが高くなる場合があること などの理由から、校庭への避難だけを視野に入れるのではなく、校舎内で安全に過ごせる力の育成も重要であろうとの考えからです。もちろん、火災が起こった場合には校庭に避難することになりますし、登下校時など教職員が近くにいるときに大きな地震が起こることもあります。こどもたちには、どのような状況でも対応できる力＝**自分の命は自分で守ることができる力**を身につけられるよう、防災教育に取り組んでいきます。

そのためには、我々教職員の防災力を高めなければなりません。6月17日には、教職員だけで訓練を行い、こどもたちの命を守るためのよりよい方法を検討しました。

（教職員研修の様子）



児童の人数・けが等の
状況報告を受ける本部



保健室に搬送された
児童を救護



随時、情報共有しながら
すべきことを判断

授業参観、ありがとうございました

学校にお越しくださりありがとうございました。いつも、前向きに授業に取り組んでいるこどもたちですが、保護者の方が見に来てくださるといつも以上に頑張っている姿がたくさん見られました。ぜひ、ほめてあげてください。

こどもたちの作品がたくさん！

今、校内には、こどもたちの硬筆や図工などの作品がたくさん、飾られています。

硬筆の時間では、一文字一文字、時間をかけて、お手本をしっかりと見ながら集中して取り組んでいました。たくさんの作品が掲示されていますが、字や絵を書くことが得意かどうかではなく、それらの作品から一生懸命取り組んだ姿を想像し、その努力をたたえる声掛けをぜひ、お願いいたします。

(1年生：図工の作品)



(ふじのこ：図工の作品)



(5年生：人権標語)



【応援団への登録をお願いします】

- 登下校の見守り
登校 7:30～8:00
下校 14:20、15:00 頃
- 学校環境整備
花壇の除草、剪定、
落葉掃き、修繕など
いつでも大歓迎！
(道具は学校にあります)
- 読み聞かせ
月曜日 8:25～8:45
- 学習支援
授業支援(ミシン、調理
実習、理科の実験、工作、
など)、校庭のライン引
き、野菜づくり、昔遊び
など

問い合わせは教頭まで

(3年生：1学期に習った漢字を使った七夕のねがいごと)

